

アル・アクサ洪水第639日目：ガザでの抵抗運動が高まる中、ネタニヤフ首相はワシントンD.C.でウィットコフ氏と会談した。

Palestine Chronicle、2025年7月7日、脇浜義明訳



ガザから発射されたミサイルがニリム入植地に着弾し、物的損害を引き起こした。(Photo: video grab)

主要事項

- *イスラエル軍は、ガザ南部から発射されたロケットがニリム・キブツに着弾して物的被害が生じたことを確認した。
- *イスラエル当局はI24ニュースに、今後24時間以内に捕虜交換と停戦に関してかなり進展するだろうと言った。
- *ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のパレスチナ人犠牲者は死者57,523人、負傷者136,617人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

7月7日 11:28 pm (パレスチナ時間)

*イスラエル・メディア：イスラエルのニュース・ウェブサイトは、イスラエル軍と救援部隊に向けた手製爆発物で10人の兵士が負傷したと報道した。ガザ回廊北部で生じた「セキュリティ事件」で、空軍ヘリコプター群が駆けつけて、空から銃撃した。

*チャンネル12：ガザ北部に近い町スデロットの住民から爆発音がして停電になったという報告があったが、それ以上の情報は提供されない。

*イスラエル・メディア：イスラエル・メディアはガザ回廊北部で例外的に大きい「セキュリティ事件」が起きたと報道したが、それ以上詳しいことは報道しない。

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院からの情報によれば、ガザ回廊中部のヌセイラト難民キャンプの北地区へのイスラエル軍の空爆で、11人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：ワシントンでは、ネタニヤフ首相とスティーヴン・ウィトコフ特使の会談が、ネタニヤフとトランプ大統領のホワイトハウス会談に先立って、始まった。

*アル・ジャジーラ：ハマスの治安担当幹部はアル・ジャジーラに次のように語った。「抵抗勢力の治安部隊は、イスラエル占領軍が協力者にガザの各地に設置させた盗聴・監視装置を見つけた。このスパイ用・軍用用の設置には多機能型クワッドコプター無人機が使用された。押収した装置の一つは重要地域の瓦礫の中でカモフラージュされていて、音声通信と映像の記録が出来るものだった。」

*パレスチナ・メディア：病院筋の報告によれば、今日夜明けからのイスラエル軍のガザ回廊各地への空爆による死者は61人となった。そのうち35人はガザ市と北部の死者である。

*アル・ジャジーラ：ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフにあるアル・アクサ殉教者病院は、「もう数時間で病院内の燃料がなくなり、数百人の患者の命が危険になる。病院活動が停止すれば、ガザ中部の50万人の人々への医療サービスができなくなる。我々は国際社会と関係機関に、病院の発電機が停止する前に介入して事態の改善を図るように要望する」という声明を出した。

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の報告では、ヌセイラト難民キャンプの北へのイスラエル軍の空爆で3人が死亡し、他に負傷者も出た。

7月7日 9:17 pm

*ホワイトハウス声明：トランプ大統領はネタニヤフ首相とガザ停戦とその他の問題を協議する。我々はハマスが停戦案と人質返還に同意することを望む。トランプ大統領はガザ戦争終結と人質の全員返還を一番優先している。スティーヴン・ウィトコフ特使は交渉に参加するために今週ドーハに向かう。

*チャンネル12：イスラエル高官の話では、現在イスラエル代表団はドーハ交渉の一環として仲介者と話し合っている。

*パレスチナ・メディア：ガザの病院筋によると、ドーハ交渉の結果が待たれる中、イスラエル軍はガザ攻撃の手を休めず、今日早朝からの空爆で42人のパレスチナ人が死亡した。そのうち22人がガザ市と北部の死者である。

*ハマスの声明：イスラエル占領軍は援助物資配給所を死の罠にし、それを米国が庇護している。我々はイスラエル・米が支配する死の罠でない、国際的配給メカニズムを要求する。占領軍が学校、避難所、病院を攻撃標的にするのは、彼らのジェノサイドを証明する組織的犯罪である。彼らは淡水化施設を爆撃して、飢えと同様渴きを兵器として利用し、人道的危機を深めている。我々は国連やアラブ諸国やイスラム諸国に、虐殺、封鎖、飢饉を止めるために緊急行動をとるように要望する。

*パレスチナ・メディア：アッシファ病院の報告では、イスラエル軍が同病院の外に駐車していた車両を空爆した結果、パレスチナ人3人が死亡し、数人が負傷した。

*ユニセフ：ガザの数千人の乳児が、必要な栄養を供給されていないため、死の危険に直面している。至急の手当が必要だ。

7月7日 7:29 pm

*イスラエル・メディア：カッツ国防相は捕虜交換とガザ停戦の交渉が進行中だと述べて、「二つの戦争目的、ハマスの殲滅と人質返還の間が対立したので、交渉という道が決定されたのだ」と言った。彼は、イスラエル軍の任務は食料配給ではなくて、それを司る「ガザ人道財団」として知られている米国会社の安全を守ることだと言った。

*チャンネル12：スモトリッチ財務相は、自分がネタニヤフ首相のトランプ大統領とのガザ停戦協議に反対したことに関して、「私は辞任しないと言ったのではなく、首相の重要な訪米に異論をはさむつもりはないと言ったのだ」と述べた。彼は、停戦交渉と、彼がハマスの手にわたるだけだと主張する援助物資のガザ搬入について、ネタニヤフ首相と協議することで合意していると述べ、「イスラエルとハマスの援助物資供給とは共存しない」と言った。

*チャンネル14：イタマール・ベン・グヴィル国家安全保障大臣はガザへの人道支援物資搬入に強く反対するとチャンネル14に語った。彼は、そんなことをすればハマスを強化しイスラエル兵を危険にさらすことになると言った。彼は、連合政権を解体すると脅しているのではなく、連合政権に対する自分の党の政治的影響力を見せただけだと言った。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はハーン・ユニス中部で住宅ビルを爆破した。

7月7日 5:54 pm

*アンサールツラ：アンサールツラの軍事部門報道官は、アンサールツラがドローン11機とミサイルを使ってロッド空港（ベン・グリオン空港）、アシュドッド港、アシュケロン発電所に対する軍事行動を行ったと発表した。

*ガザ保健省：ガザ保健省の野戦病院部の部長はアル・ジャジーラに対し、「輸血用血液バッグの供給問題で頭を抱えている。1万ユニット以上必要なのに、確保できたのは3,500ユニットだけ。西岸地区の兄弟たちに血液バッグを送ってくれと要請するが、占領軍の妨害で搬入が出来ない」と語った。

*パレスチナ・メディア：医療筋の報告では、今日明方からのイスラエル軍のガザ回廊各地への空爆で、35人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・クッズ旅団：我々は先週木曜日ガザ市のシェジャイヤ地区に進軍したイスラエル軍を攻撃し、対装甲車用爆発物を爆発させて敵の装甲車2台を爆破した。

*ガザ保健省：2023年10月7日以降イスラエル軍に殺害されたパレスチナ人は57,523人となり、負傷者は「136,617人となった。

*パレスチナ・メディア（病院筋を引用）：今日夜明けからのイスラエル軍のガザ回廊各地への空爆で26人のパレスチナ人が死亡した。

*NBC：ネタニヤフ首相はトランプ大統領と会う前にスティーヴン・ウィトコフ特使と会談した。

*アル・ジャジーラ：ガザ市西のアンナスル地区のアッシファ通りへのイスラエル軍の攻撃で数人の民間人が負傷した。

7月7日 4:35 pm

*緊急救急サービス：緊急救急隊の報告では、ラファ市北の援助物資配給センター近くで配給を待つ人々へのイスラエル軍の発砲で、2人が死亡し、20人が負傷した。

*ウォールストリート・ジャーナル（信頼できる情報筋を引用）：イスラエルのエヤル・ザミール参謀総長は人質解放のために合意することを望むと政府に告げた。彼は、これ以上のガザ攻撃は人質の命を危険にさらすと政府に伝えた。さらに、ハマスをこれ以上弱体化させることにメリットがあるのかと疑問を表明した。

*レバノン保健省：イスラエル軍の南レバノンへの空爆で10人が負傷した。

*イスラエル・メディア：カンは、トランプ大統領との会談のためにワシントンD.C.に到着したと報じた。チャンネル14は、トランプとネタニヤフは現地時間の6:30にホワイトハウスで夕食会を催す予定だと報じた。

*イスラエル軍：イスラエル軍は、長年施行されてきた超正統派ユダヤ教徒（ハレディ）の徴兵免除法の失効を受け、今月末までにハレディ派男性54,000人に徴兵通知を発送すると発表した。

*アンサールツラのメディア・オフィス：我々のイスラエルへの軍事行動は、侵略が終わり、封鎖が解除されるまで、続ける。シオニストのイエメン攻撃は我々のイスラエル奥地への攻撃を止めることができなかつたし、今後もできないであろう。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍はハーン・ユニス中部と北部への砲撃が強化した。pic.twitter.com/HQFZpHAsAy

*イスラエル軍：イエメンから飛行体が発射され、イスラエルのいくつかの地区で警戒警報が鳴った。

*パレスチナ・メディア：アル・アクサ殉教者病院とアル・アウダ病院の報告によれば、ブレイジ難民キャンプの中の住宅へのイスラエル軍の攻撃で、パレスチナ人2人が死亡し、何人かが負傷した。

*アンサールツラの軍事部門報道官：イエメンの防空部隊がイスラエルの空爆に効果的に対応した。我々は国産の地对空ミサイルを使って敵機編成を退散させた。

7月7日 1:17 am

*イエメン・メディア：アンサールツラの政治評議会の幹部は、イスラエルが継続的にイエメンのインフラ爆撃を行っても、「わが国民のガザ支援決意をより強化するだけだ」と言った。

*トランプ：トランプ大統領は昨晚深夜に、まもなくハマスの合意が成立して多数の人質が解放される可能性が「非常に高い」と言った。「もうすぐだ」とトランプが言った。

*イエメン・メディア：イスラエル軍の空爆は主としてイエメンの西海岸のホデイダ市を標的にした。

*イスラエル軍：軍は、アンサールツラのイスラエルの敵対行為に関連しているとして、ホデイダ港とラス・イサ・アッサリフ港を爆撃する計画を発表した。また、ホデイダ発電所へ避難命令を出したことも発表した。

7月7日 12:57am

*ウォールストリート・ジャーナル：米高官がウォールストリート・ジャーナルに語ったところによると、ドーハ交渉は、ハマスが以前から要求していた問題 — イスラエル軍がガザ撤退、援助物資の量、援助物資の配給をイスラエル・米のメカニズムから国連のそれに変える など — を解決しなければならない。

*イスラエル軍：軍はガザ回廊南部から発射されたロケット一発がニリム・キブツに着弾して物的損傷が生じたことを確認した。イスラエル・メディアによれば、このようなロケット発射は6月の初めから7回目である。

*アル・ジャジーラ：パレスチナ抵抗勢力はアル・ジャジーラに対して、停戦の可能性は大きくなったが、イスラエルが重要な点で渋ると思うと語った。彼らは、間接交渉なので、仲介国がギャップを埋める努力をしてくれることを期待している。

*BRICS：BRICS 首脳会議の閉会声明で、BRICS はイスラエルが前の停戦を破ってガザ攻撃をエスカレートしたこと、支援物資妨害、飢餓を戦争兵器として使っていることを非難した。BRICS は即時停戦に向けた誠意ある交渉を希望した。

*パレスチナ・メディア：ネツァリム回廊近くで援助物資配給を待っていた人々への銃撃で、2人のパレスチナ人が死亡し、他に負傷者も出た。

*イエディオト・アハロト：スティーヴン・ウィトコフ米特使はニューヨークのイベントで状況は「前向きに」進んでいると述べ、カタールの役割を称賛し、戦争がすぐに終わることを期待すると言った。

*アル・カッサム旅団：我々はイスラエル入植地（キブツ）のニリムとアイン・ハシュロシャをラジューム・ロケットで攻撃した。また、ハーン・ユニス北のアル・カララとアッサタール付近に集結していたイスラエル軍を迫撃砲で攻撃した。

*I 2 4 ニュース：イスラエル当局の話では、24時間以内に捕虜交換と停戦合意に関して大きな進展がある。